

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎看護学実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習施設
担 当 教 員	岡本 智子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として働いていた。			
《授業科目における学習内容》						
病院実習を通して病院の機能、看護の対象と療養環境を理解する。また、対象者とのコミュニケーションを体験し、ヒューマンケアの視点から看護職に求められる役割を学ぶとともに、看護学生として基本的な実習態度を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
実習態度、出席状況、学習内容、コミュニケーション、看護技術等により総合的に判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
看護学概論、基礎看護学Ⅰ・Ⅱ 副読本						
《授業外における学習方法》						
実習オリエンテーション(①実習ガイド説明 ②実習要項・目標達成シートについて ③リフレクション演習 ④実習マナー ⑤カンファレンスについて ⑥実習グループ別GW ⑦目標達成シートの助言)を実施し、実習準備をする実習後は、実習の学びをまとめる。						
《履修に当たっての留意点》						
実習要項をよく読んで、実習内容、到達目標を理解して実習に臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	病院・外来・他部署・病棟のオリエンテーションを受け、病院の構造と機能、各部門の機能について知る。	所持している教科書・参考書	実習要項を読み、この実習で何を学ぶのか、また、どのようなことが学べるのかをイメージする。 目標達成シートの記載	
		各コマにおける授業予定	病院オリエンテーション、外来および他部門オリエンテーションを受ける。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	看護の機能と役割、看護活動への理解を深める。	所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	看護師に同行し、様々な看護活動を見学する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者の療養環境について考え、快適な環境整備が実施できる。	所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	健康障害のある対象者や日常生活の支援が必要な対象者の療養環境および療養生活を観察し、既習の知識・技術を活用して快適な療養環境を整える。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者とのかかわりを通して、対象の思いに寄り添うことができる。	所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	既習の知識・技術を活用し、療養中の対象者とのコミュニケーションを通して、対象者の思いを知る。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習のリフレクション	所持している教科書・参考書	実習記録 評価表 自己評価	
		各コマにおける授業予定	実習をふりかえり、学びを深める。			